

4年生実践から見る 指導と評価

1. 単元名 「わたしたちの県のまちづくり」 ～自然環境のよさを生かす三浦市～

2. 学校教育目標と社会科で目指す子どもの姿

(省略)

3. 単元目標

三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳やガイドブックなどの各種の資料で調べ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え表現することで、三浦市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、三浦市の様子を理解している。	①三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、問いを見出し、三浦市の様子について考え、表現している。	①三浦市の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを関係図などにまとめ、三浦市では人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。	②三浦市の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現している。	

5. 目指す子どもの姿に迫るための授業改善の5つの視点

(1) 教材化 ～自然環境のよさを生かしたまちづくり～

三浦市は、三浦半島の最南端に位置して、三方を海に囲まれている自然環境豊かな場所です。その場所では、古くから農業や漁業が盛んであり、その産業に携わる人々はもちろん、それを支える人々も多くいます。その人々への取材を行い、その思いを教材化することによって、子ども達がその人物達を身近に感じられるようにしました。その中で、三浦市のために努力する人々の思いに触れ、まちづくりや観光などの産業の発展に努めている人々がいることを理解できるようにしました。

(2) 学習過程 ～社会的な見方・考え方を鍛える学習過程～

単元の導入では、前単元である伝統工芸を生かしていた箱根町に対して、マグロやキャベツなどの資料を提示することで自然環境を生かしたまちづくりを行っているのではないかという見通しをもてるようにしました。子どもの予想をもとに学習計画をつくることで、主体的な学習になるようにしました。単元前半では、箱根町の学習で働かせた見方・考え方を三浦市の農業の様子を捉える学習でも働かせれば、問題解決につながるということを気付かせるようにしました。同じ見方・考え方を繰り返し、働かせることで他の学習や実生活でも働かせることにつながると考えました。単元中盤の漁業についての学ぶ場面では、農業で鍛えた社会的見方・考え方を働かせながら自発的に学習を進めていき、学びが深まるようにしました。単元終盤では、これまでの人々の取組や関係性を整理しながらまとめていく中で、三浦市の様子を捉え、人々が協力して特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていたりすることを理解できるようにしました。

(3) 学習活動 ～子どもの思いを反映する学習活動～

学習活動では、一人一人が思いをもって学びに向かう姿勢が大切です。そのため、個人の予想や考えに基づきながら学習を進められるような環境を整えました。三浦市の漁業を個人で学ぶ場面では、ワークシートの活用やGIGA 端末で調べる資料の精選を行い、悩みなく取り組むことができるようにしました。その後、友達と交流しながらまとめることで様々な取組やそれに携わる人達の思いや協力関係があることを理解できるようにしました。また、調べる視点がずれないようにするために、これまでの学習で意識してきた社会的見方・考え方に立ち返りながら学習するように支援しました。グループ学習では、個人で調べたことを共有することで考えを広げたり、深めたりできるようにし、学び合うよさを実感できるようにしました。

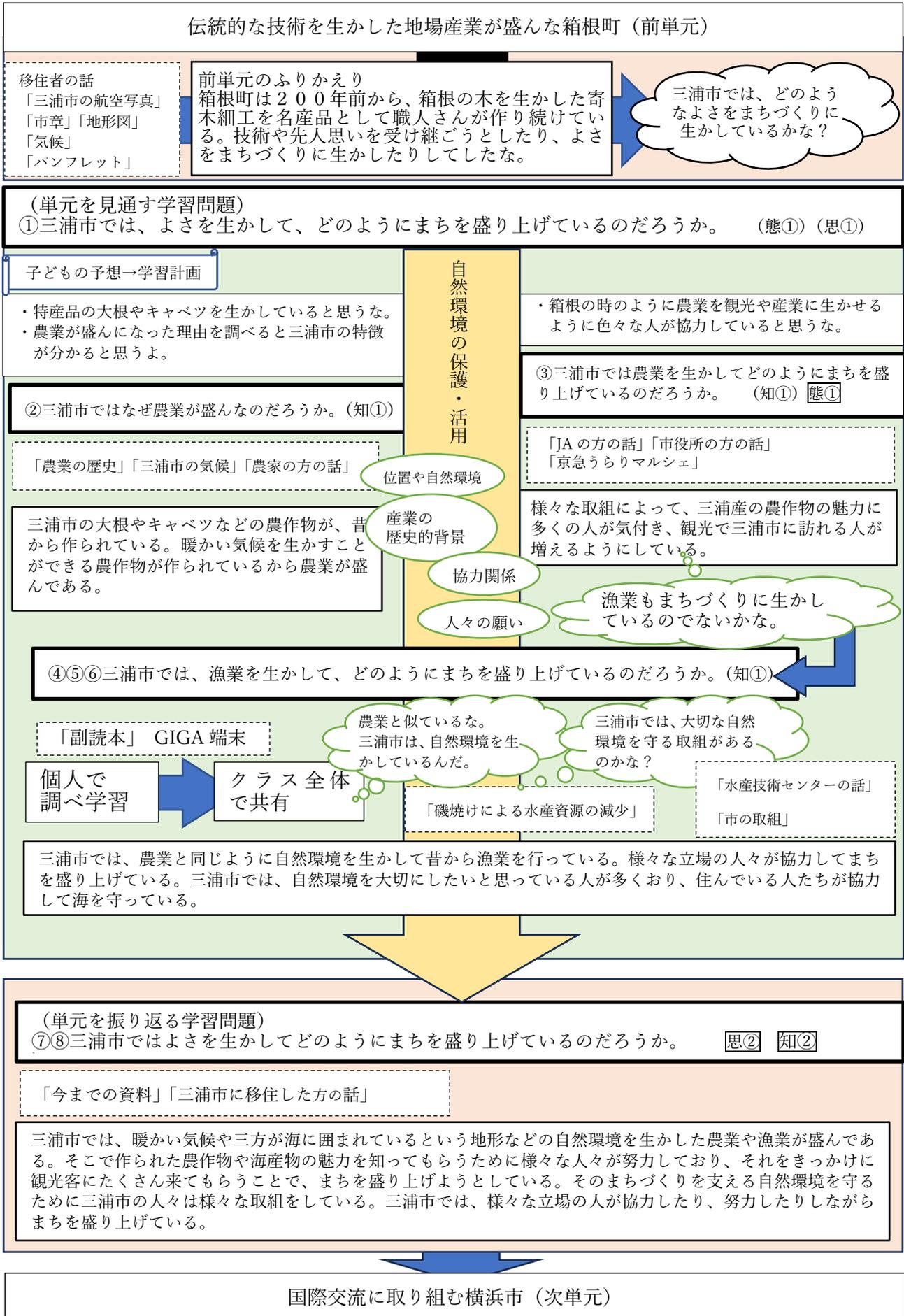
(4) 指導と評価について ～振り返りを授業に生かす～

子ども達が自分の1時間の学びを振り返ることができるように授業中に出てきたキーワードを明確にしたり、全体で確認したりしました。そして、「次は、〇〇を調べてみたい」「〇〇と△△が繋がっているのではないか」と子ども達が振り返りに記述した内容から次の課題を設定したり、学習内容を見直したりすることによって、子どもの思考が連続した授業になるようにしました。また、振り返りで社会的な見方・考え方を働かせながら記述をしている子どもを積極的に価値付け、クラス全体で学びの方向性がずれないように修正するようにしました。

(5) 一人一人が生きる社会科学習について ～全員で学び合う社会科学習～

自分の考えをしっかりともち、交流できるように個人思考の時間を十分に確保しました。協働的な学びの実現を目指し、一人の発言で授業を進めるのではなく、全員で授業を進めていけるように机間指導を生かし、意図的指名をするなど、学び合いの雰囲気をつくるようにしました。

6. 問題解決的な学習の充実に迫る単元構想

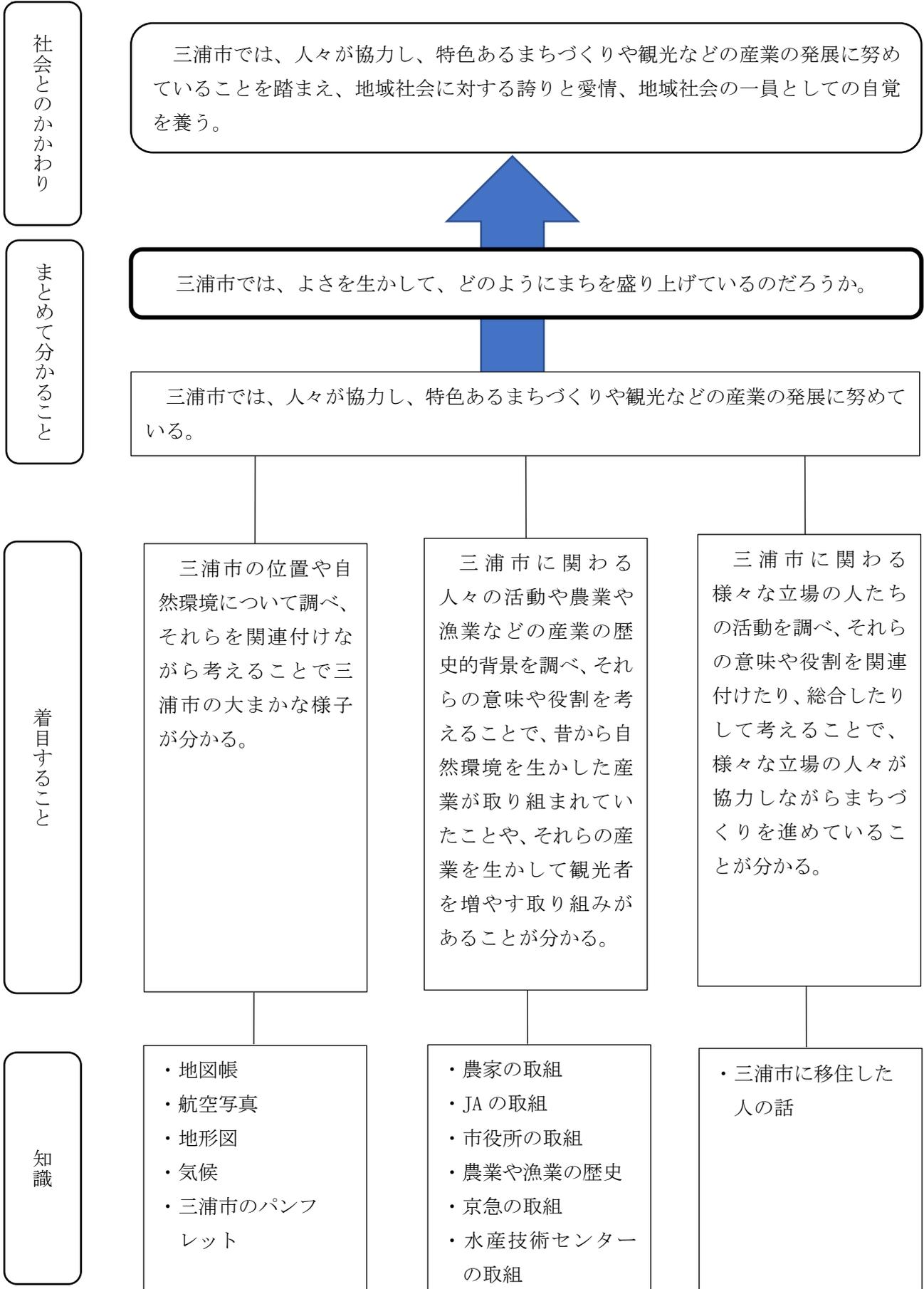


7. 資質・能力の育成に向けた学習評価計画（8時間）※口は評価したことを記録に残す場面

本時のねらい	○主な学習活動	◇主な資料	評価方法【評価規準】
<p>①三浦市の位置や自然環境、箱根町の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、学習問題を作ることができるようにする。</p> <p>学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。</p>	<p>○写真や地図帳、資料などから学習問題を見出す。</p> <p>○学習問題に対する予想を出し合い、学習計画を立てる。</p>	<p>◇航空写真</p> <p>◇市章</p> <p>◇地形図</p> <p>◇気候</p> <p>◇三浦市のパンフレット</p>	<p>ノートの記述や発言内容から「三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、問いを見出しているか」を評価する。【思—①】</p> <p>ノートの記述や発言内容から「三浦市の様子について、予想や学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態—①】</p>
<p>②三浦市の位置や地形、産業の歴史的背景を調べることを通して、大根やキャベツが大昔から作られてきたことや、暖かい気候を生かすことができる農作物が作られているから農業が盛んであることを理解できるようにする。</p>	<p>○農家の人の話や資料をもとに三浦市の農業について調べる。</p>	<p>◇大根の生産量</p> <p>◇野菜売りの写真</p> <p>◇農業の歴史</p> <p>◇三浦市の気候</p> <p>◇農家の人の話</p>	<p>ノートの記述や発言内容から「三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景について、必要な情報を集め、読み取り、大根やキャベツが大昔から作られてきたことや、暖かい気候を生かすことができる農作物が作られているから農業が盛んであることを理解しているか」を評価する。【知—①】</p>
<p>③市役所やJA、京急電鉄の取組を調べることを通して、農作物を観光に生かしていることを理解できるようにする。</p> <p>これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見出すことができるようにする。</p>	<p>○農業に関わる人たちの取組について調べる。</p>	<p>◇市役所の人の話</p> <p>◇JAの人の話</p> <p>◇京急うらりマルシェの写真</p> <p>◇これまでの学習で使った資料</p>	<p>ノートの記述や発言内容から「市役所やJA、京急電鉄の取組について、必要な情報を集め、読み取り、農作物を観光に生かしていることを理解しているか」を評価する。【知—①】</p> <p>ノートの記述や発言内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見出し、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。【態—①】</p>

<p>④⑤⑥三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係を調べることを通して、漁業を生かして様々な立場の人が協力し、まちを盛り上げていることや、自然環境を守っていることを理解できるようにする。</p>	<p>○漁業に関わる人たちの取組について調べる。 ○自然環境を保護する人たちの取組について調べる。</p>	<p>◇漁業の歴史 ◇三浦市の航空写真 ◇三浦朝市の様子 ◇漁師の話 ◇磯焼けの写真 ◇水産技術センターの人の話 ◇クリーンアッププロジェクト</p>	<p>ノートの記述や発言内容から三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係について必要な情報を集め、読み取り、漁業を生かして様々な立場の人が協力し、まちを盛り上げていることや、自然環境を守っていることを理解しているか」を評価する</p> <p style="text-align: right;">【知一①】</p>
<p>⑦これまでの学習を思考ツールにまとめる活動を通して、三浦市の人々の活動と産業や地域の発展を関連付けたたり、総合したりして、三浦市の特色を捉えて、表現できるようにする。</p>	<p>○三浦市の取り組んでいる特色あるまちづくりについて思考ツールにまとめ、考えを深める。</p>	<p>◇これまでの学習で使った資料 ◇三浦市への移住者の話</p>	<p>思考ツールや発言内容から「三浦市の人々の活動と産業や地域の発展を関連付けたたり、総合したりして、三浦市の特色を捉えて、表現しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【思一②】</p>
<p>⑧これまでの学習したことをもとに学習問題について図や文でまとめることができるようにする。</p>	<p>○学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて関係図にまとめる。</p>	<p>◇これまでの学習で使った資料 ◇思考ツール ◇三浦市への移住者の話</p>	<p>ノートノ記述や発言内容から「調べたことを関係図などにまとめ、三浦市では人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【知一②】</p>

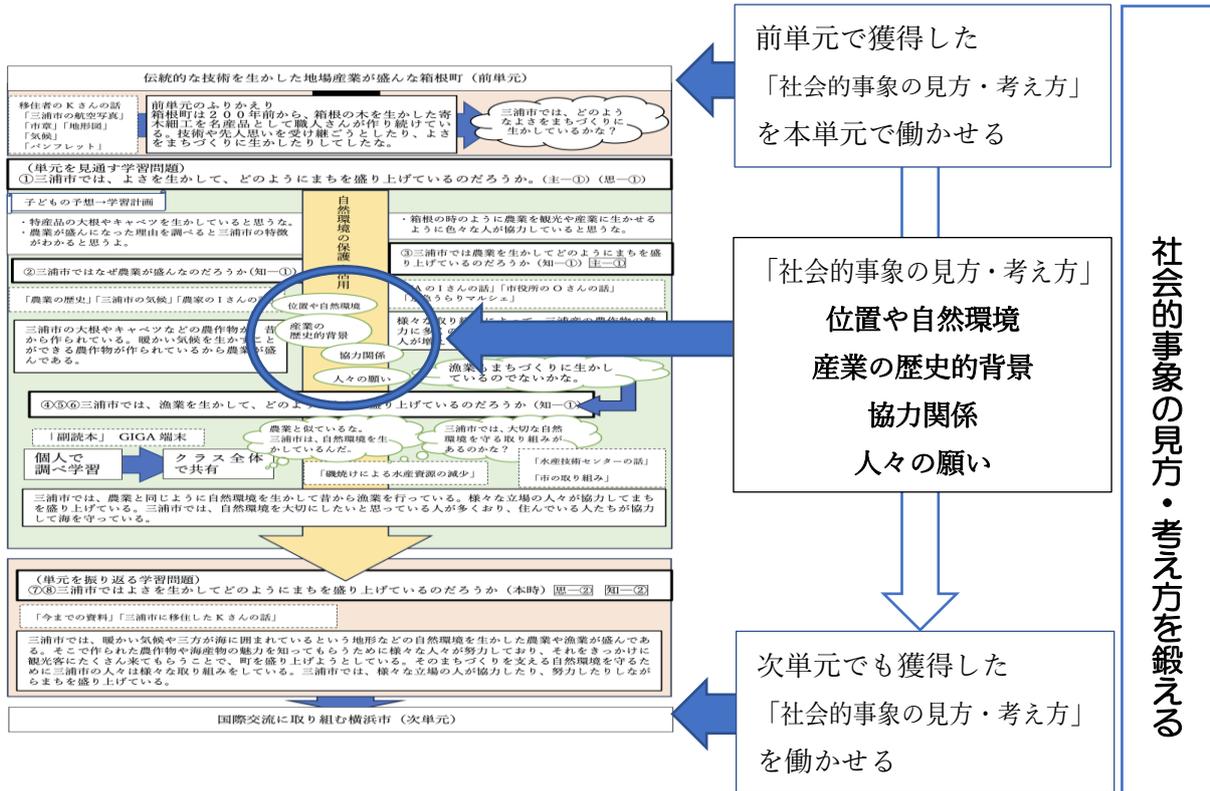
資料. 「社会のしくみ」と「社会のかかわり」をつなぐ理解の構造図



ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科

研究の重点① 社会的事象の見方・考え方を鍛える学習過程

⇒大単元「県内の特色ある地域の様子」では、3つの地域を扱う。繰り返し働かせる社会的事象の見方・考え方を単元構想図に位置付け、鍛えることで、獲得した「社会的事象の見方・考え方」を用いて、主体的に追究・考察することができ、資質・能力の育成につながると考える。



研究の重点② 学習問題の解決に向かう学習活動

⇒7時間目は、2～6時間目に獲得した知識をもとに、協働的に学びながら学習問題の解決に向かう位置付けとした。①グループ活動での交流方法 ②考えを深める資料や発問を工夫することで、主体的に考察することができ、資質・能力の育成につながると考える。

